

第 76 号

2013年1月

# ラルーラ通信

<発行>

中部学院大学

子ども家庭支援センター

〒504-0837 岐阜県

各務原市那加甥田町30-1

TEL058-375-3605

fax058-375-3609



## 里親になって思うこと

中部学院大学短期大学部  
幼児教育学科 伊藤龍仁

今年（2012年）の9月の終わりころ、我が家に4歳の男の子がやってきました。彼は、その数ヶ月前から児童相談所に保護されていたわけですが、ちょうど里親に登録した私たち夫婦の里子として委託されることになったのです。

私と妻は二人とも、彼のように家庭の事情から保護された子どもたちが生活する、児童養護施設のケアワーカーをしてきました。私たちはお互いに、長く社会的養護に携わる中で、いわゆる「施設養護」の矛盾について、よく話し合っていたと思います。家庭とは異なる環境の施設で、職員が職務として子どもたちを養育することについての限界や問題点に関する話です。

私は、施設職員としての最後の2年間を、家庭のような生活スタイルの環境で、6人程度の小さなグループの子ども達を養育する経験ができました。ただ、そのような施設はまだ一部に過ぎず、ほとんどの施設の子どもたちは、今でも大集団の中での落ち着いた生活を送っています。また、小規模化して家庭的になったとしても、施設は施設であり、職員が勤務として働いていることを、子どもたちは見抜いていると感じていました。

ところが私は、3年ほど前に施設を退職して本学の教員となりました。また、妻も勤務していた施設を退職することになり、これを機に、養育里親として登録して自宅に里子を迎え入れようと考えたのです。実子が高校生となり、寮生活を送っていたことも、いいタイミングだったと思います。そして彼が来て、わずか3ヶ月しか経っていないのですが、今ではずっと前から我が家にいたように感じます。とても不思議な感覚ですが、彼が来てからの毎日はとても刺激的であり、お互いに濃密な3ヶ月間を過ごしてきました。そして、彼のおかげで、久しぶりに遊園地や公園に遊びに行くことができました。彼の成長を喜んだり心配したり、夫婦の会話も非常に増えました。妻は、私の帰宅時間が早くなったと喜び、家族にとって「子宝」という言葉を再認識しています。

ところが先日、私が彼を幼稚園まで送る途中のことです。クリスマスについて楽しくおしゃべりをしていたら、急に、「ぼくはいい子じゃないから、サンタさんが来てくれない。」と言うのです。どうしてそのようなことを言うのかと、私自身も驚きました。このように「じぶんがわるい」と思うのは、社会的養護の下にある子どもたちに共通した傾向だといえるのですが、とても悲しく感じます。彼もまた、親元から切り離されたのは「自分が悪い子だったから」と思い込んでいたようです。もしかしたら、今までサンタが来てくれなかったのかもしれませんが。

「自己肯定感」は人間の自信の源であり、子どもの成長のエネルギーになると思っています。それは特別に意図されなくても、「いい子だね!」「よくできたね!」という、日常の何気ない親から子への愛情と承認の中で育まれるものだと思います。そして、クリスマスのサンタクロースは、そのような愛情と承認の象徴だと言えないでしょうか。

そして迎えたクリスマスの日。いつものように目が覚めた彼の枕元には、サンタさんからのプレゼントが二つも届いていたようです。「サンタさんが来てくれた!」と大喜びの小さな息子くん、これで少しは自信を取り戻してくれたかな?

## ☆ お正月遊びを楽しみましょう！



駒回し・羽根つき・カルタ遊び・福笑いなど、1月はお正月遊びを楽しみたいと思います。子育てサロン（9日）では、まだ文字に興味のない小さなお子さんも楽しめる絵カードカルタを作って遊びます。みんなで遊ぼう！（12日）では学生と一緒に様々なお正月遊びを楽しみ、げんきサロン（17日）では風船羽子板遊びをします。にこにこ広場（24日）・赤ちゃんサロン（30日）でも季節が感じられるような内容を考えています。

また、コーナー遊びでは「絵サイコロ」を作ります。親子で遊べる内容です。「ぐりとぐら」などお話カルタも用意してあります。仲間が集まれば、カルタ取りもいいですね。みんなで一緒にお正月遊びをラ・ルーラで楽しみましょう。



## ☆ 季節の行事 そして今度は「節分の豆まき」



2月1日(金)「子育てサロン」で節分の豆まきをします。毎月の「子育てサロン」のプログラムに加え、鬼の的あて遊び・鬼のお面や升も作って遊びます。今年のお面は紙袋を利用して作ります。（大人もかぶれるほどの大きさの物ですからご家庭での豆まきにも利用してくださいね。）

そしてクライマックスは学生が扮する鬼に、豆に見立てたボールを投げて鬼を追い払います。新しい年（立春）を迎える前日（立春の前日・節分）に、鬼に豆をぶつけて自分自身の邪気（おに）を払い、また形の見えない災害や病などの恐ろしい出来事も払いのけ、福を呼びこみましょう。子どもだけではなく、お母さんも一緒に豆まきを楽しみませんか？



## ☆ 1月23日(水) 劇団「風の子」公演

11月開催した「親子のためのふれあいワークショップ」に引き続き、劇団風の子公演を今年も開催します。毎年好評の公演で今回は「いろはにこんぺいとう」という乳幼児向けの新しい作品です。小さなお子さんが楽しめる内容ですので、初めての観劇デビューにお勧めです。ぜひどうぞ！

1月23日(水) 13:30~  
中部学院各務原キャンパスにて

「いろはにこんぺいとう」  
音遊び・いろいろあそび・わらべうた  
ちいさなおはなし「おっきいちゃんとちっちゃいちゃん」  
「あやとり劇場」

などなど、いくつかのプログラムを組み合わせで上演します。

ちいさな頃 お母さんの胸で聞いた こもり唄  
おばあちゃんが話してくれた むかしばなし  
ともだちと一緒に唄った わらべ唄  
その時吹いていた風の音、木々の声、不思議な音…  
そんな いろんな“あったかい”や“おもしろい”を  
おしばいにしてみようと思います。【チラシより】

当日は、入場券が必要です。

お問い合わせお申し込みは 劇団風の子中部事務所 TEL058-215-7780  
ラ・ルーラ TEL058-375-3605 まで。



## ☆ こんなたよりが届きました！ 「嬉しい頼り」



先日、ラ・ルーラのメールボックスに封書が届いていました。早々に封を開けてみると、ラ・ルーラのままごとのおもちゃが入っており添えてあったお手紙には「子どものポケットのなかに…」とありました。送ってくださったお母さんのお心遣いや優しさが伝わりとても幸せな気持ちになりました。本当にありがとうございました。

## ☆ 子育て実践プログラム 好評受付中

年度の始めから皆さんに参加していただいている「子育て実践プログラム」も、残すところ2講座となりました。同室にて子どもさんの託児も承っています。どうぞご参加ください。



### 講座名 子育ての中に音楽のエッセンスを♪

子どもさんの成長に目をみはる日々をお過ごしのお母さんお父さん。こころの成長も盛ん、親として喜んだり心配したりの毎日でしょうか。音楽は、ことば以上にこころを通わせる素敵な力があります。双子のママとしてのエピソードを交えながら、音楽遊びを通して、楽しみながら親子のコミュニケーションを深めていきましょう。

日程	1月16日(水)
時間	11:00~12:00
対象	乳幼児とその保護者
定員	20組
講師	中部学院大学短期大学部教員

杉山 祐子

申込期間 現在受付中~1月9日(水)まで

### 講座名 子どもは感覚で英語を覚える

子どもは体全体で様々なことを体感し身につけていきます。一緒に感じながら「英語」に触れてみましょう。

日程	2月8日(金)
時間	11:00~12:00
対象	乳幼児をもつ保護者・関心のある方
定員	30人
講師	中部学院大学短期大学部 学長

片桐 多恵子

申込期間 1月8日(火)~2月1日(金)



お母さんも英語でおしゃべりしてみませんか

## ☆ ラ・ルーラ季節たより 「親子で見つける小さな自然」



今回は「春の七草」について。

七草摘みに出かけましょう!! 正月七日に無病息災を祈って食べる七草粥。その七草(セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・ズズシロ)を今年は散歩に出かけて採ってみませんか?この頃はスーパーにも七草がパックになって売っていますが、道端に目を向けると結構身近にあるものです。

少し歩くだけですぐに見つかるのは「ハコベラ」「ナズナ」で次に見つかるのが「セリ」。枯葉をめくってみると、春を待つ草木の芽が結構見つけたりおもしろいですよ。防寒対策をしっかりと、冬の散歩にぜひ出かけてみてください。

冬の散歩も楽しい発見が山盛りです。



### 「ホトケノザ」(コオニタビラコ)

湿地を好み、田や周囲のあぜ道などに多く生える。冬はロゼット葉を広げて地面にはいつくばった姿で見られる。

### 「セリ」

湿地やあぜ道など水分の多い場所に生育する。小川や水路沿いに生育する「ドクゼリ(横に這わずセリ特有の芳香もない)」とは違うので配慮が必要。



### 「ハコベラ」(ハコベ)

背の低い草で、茎は株上になるか一本立ちになり、よく分かれて密集する。比較的すぐにたくさん見つけることができる。



### 「ナズナ」(ぺんぺん草)

皆さんお馴染みの通称ぺんぺん草。春のなつて草丈が伸びると良くわかりますが、この時季はまだ芽がでていなく、ロゼット(放射状)で冬を越すする。



### 「スズシロ」(ダイコン)



### 「スズナ」(カブ)

### 「ゴギョウ」(ハハコグサ)

ナズナ同様に人里の道端や冬の水田にも良く生えている。この時季はまだほとんど茎もびていないので見つけるのは難しいかも…。



### 薔とロゼット(放射状)の葉



### ロゼット(放射状)の葉



＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）

催しがあるときも ラ・ルーラ内で自由に遊べます。



## 2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 子育てサロン 11:00～12:00	2
3 休み	4 休み	5	6	7 11:00～ お母さんのための リフレッシュ講座	8 子育て実践 プログラム	9 みんなで遊ぼう！ 11:00～12:00
10 休み	11 休み	12	13 げんきサロン 11:00～12:00	14	15 11:00～ 移動図書館 (読み聞かせ)	16
17 休み	18 休み	19	20	21 にこにこ広場 11:00～12:00	22 2月の誕生会 11:00～11:30	23
24 休み	25 休み	26 12:50～ ランチタイム コンサート	27	28 赤ちゃんサロン 11:00～12:00		

\*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。2月のコーナー遊びは「ビニール凧作り」です。

\*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

尚、各行事は定員 15～20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

## 2月の行事 各サロンの内容紹介

1日 子育てサロン 鬼の的あて遊び & 節分の豆まき

7日 お母さんのためのリフレッシュ講座 編み物②（シュシュ・花のモチーフなど）

8日 子育て実践プログラム 「子どもは感覚で英語を覚える」  
（中部学院大学短期大学部 学長 片桐 多恵子）

9日 みんなで遊ぼう！ 学生企画の遊びの広場です。（担当サークル：はっぴいまん）

13日 げんきサロン（2～3歳児対象）カラーリング遊び & 制作（ビニール袋凧作り）

15日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

21日 にこにこ広場（1歳児対象）親子ふれあい遊び

22日 誕生会 2月生まれのお友達を みんなで祝います。

26日 ランチタイムコンサート 吹奏楽部員による ミニコンサート

28日 赤ちゃんサロン（0歳児対象）親子ふれあい遊び & 交流